

県士会 ニュース

No.231

[2025.2]



Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

TOPIC 2024年度臨時社員総会開催のご報告 P. 4

巻頭言 P. 1	地域リハビリテーション部活動紹介 P. 4
生活行為向上マネジメント (MTDLP) 推進委員会からの お知らせ P. 2	News letter P. 5
OT が知っておくべき制度情報コーナー (第9回目) P. 3	絵本でみる作業療法 P. 6
各部からの報告 P. 3	事務局からのお願い P. 6
	編集後記 P. 6

巻頭言

第6回神奈川県臨床作業療法大会 大会当日

「コミュニケーションに焦点を 当てた臨床作業療法大会」

大会事務局 山口 拓也 (鶴巻温泉病院)

2024年12月8日(日)、第6回神奈川県臨床作業療法大会が国際医療福祉大学(小田原校)において開催されました。当日は晴天に恵まれ、参加者・ボランティア・学生・団体など200名近い方が一堂に会する場となりました。

本大会では「Communication - 再動×再考 -」をテーマに作業療法のさまざまな分野から講演や演題発表、ブース企画などが行われ、コミュニケーションの多面的側面の重要性を学ぶことができたと思います。講演では、目標に関する「達成支援」と「設定」に関して講師の出江紳一先生と佐藤良枝先生から、コーチングや目標設定の概念について学び、参加者は効果的なコミュニケーションの活用と目標設定の本質を深く理解したと思います。また、石田竜生氏によるお笑いを活用した作業療法の講演も行われ、ユーモアを交えたコミュニケーションでは自らが楽しむことの大切さを強調されていました。演題発表では予想を上回る演題数となり、ポスター発表も口述と同じ発表形式とし活発な意見交換が行っていました。そして、ICT/e-sports企画では、スイッチを活用したゲーム機の操作、タブレット端末の操作が自ら体験することができました。さらに、県士会との共同企画にある談話会場では、来場した作業療法士同志、交流が促進され、コミュニケーション

を通じて繋がりが深まりました。対面形式での開催はコロナ禍以降初めての試みであり、久しぶりに参加者が直接顔を合わせる貴重な機会となりました。参加者にとって新鮮で有意義な時間となったことは間違いのないと思います。

大会を通じて、作業療法士としての知識や技術を高めることはもちろん、対象者との信頼関係を築くための「コミュニケーション」の重要性を再認識できたことと思います。今回の学びが作業療法の質向上に繋がると改めて感じ、今回の学びが今後の実践において大いに役立つと期待しております。

本大会は、参加者にとって学びの場であると同時に、作業療法士同志のコミュニケーションを通じた繋がりの場という貴重な機会となりました。それらは、参加者同士のネットワークが広がり、今後の臨床に大いに活かされることと思います。作業療法士として、より良い医療を提供するために「コミュニケーション」の力を再認識し、更なる学びを深めていくことの重要性を実感できた大会であったと思っております。



事務局メンバー



大会当日の朝



大会賞授与式



佐藤良枝先生の講演



出江紳一先生の講演

連載

生活行為向上マネジメント(MTDLP)推進委員会からのお知らせ ～ MTDLPいち推し～ MTDLPは、よりよい作業療法実践を目指す一つ的手段です！

MTDLP 推進委員会 奥原 孝幸

年が明けて、早くも2月です。2月は節分ですが、作業療法士国家試験のある月です。合格者が皆さん方の職場に入っていきます。また新しい春がきますね。

さて、今号はMTDLP事例検討会に関してご紹介したいと思います。今年度はZoom開催で4回計画して、予定通り進んでいます。この事例検討会は、基礎研修受講後各自の実践を事例報告にして発表することと、MTDLP指導者である講師からの質疑応答、実践的指導を受けて、よりMTDLPの理解を深めていただく研修です。ちょっとハードルが高いかもしれませんが、事前に報告資料をお送りいただき、講師陣でフィードバックし、それを修正し、当日発表いただきますので、安心してご参加いただけます。これは本土会主催の事例検討会の独自の工夫です。

その後はそれをMTDLP事例報告登録に結びつけていただきたいと思います。事例報告登録のご相談も受け付けています。これも本土会独自の取り組みです。事例報告登録の審査に合格するとMTDLP指導者となり、MTDLP関連の研修会の講師などの資格となります。

また、本土会の事例検討会では、発表だけでなく、聴講のみの参加も受け付けています。事例検討を聴いて、MTDLPの理解を深め、次には事例報告の発表につなげていただければと考えています。

今年度は休日の日中だけではなく、平日の夜の時間帯(19時～21時くらい)の開催も試みてみましたが、休日より参加者が多い結果となり、参加ニーズを探ることもできました。来年度は、平日夜の開催を増やし、発表者も聴

講者も増やしていこうと事業計画を考えています。それを通して、MTDLPのさらなる推進につなげる重要な機会にしたいと考えています。

以下に、今後の研修会予定を示しますので、ぜひご参加ください。研修会内容や申し込み方法などの詳細は、[神奈川県作業療法士会ウェブサイト](#)をご覧ください。

締め切りを過ぎていてもお問い合わせください。参加できる可能性が高いです。

2024年度MTDLP関連研修会情報

1. 第2回MTDLP基礎研修 **★今年度は対面開催します！**
本研修会は、生涯教育制度現職者選択研修の必須研修です。
★2025年2月16日(日) 9時(受付)～17時30分
会場：[ウイリング横浜\(上大岡\)](#)
2. MTDLP事例検討会 **★Zoom開催です。**
本研修会では、発表者へは事前に発表資料を提出いただき添削をして発表準備を支援し、発表後はMTDLP事例報告登録を支援しています。また、事例報告の発表だけではなく、聴講するだけの参加も可能です(発表したことにはなりません)。実際のMTDLPの実践をぜひお聴きください。
★第4回2025年3月2日(日) 13時～15時
[\(発表者数により終了は前後することあり\)](#)

ご存じですか？ 新たな地域医療構想における精神医療の位置づけ

制度対策部 社会保障制度班 担当理事 澤口 勇

県士会会員の皆さん、こんにちは。制度対策部です。

本コーナーでは「作業療法士が関わる諸制度（法律）」について、実際に皆様の臨床現場で知っておいて欲しい、お役に立つ法令などの情報提供に努めております。

皆様はこれまで「地域医療構想」というワードは聞いたことがあるかと思います。地域医療構想は、中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据え、医療機関の機能分化・連携を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制の確保を目的とするものです。県士会ニュースでもトピックスとして令和6年10月号に取り上げました。では今回何故、2度目のご登壇なのか・・・以下、詳しく解説します。精神系の方は必読です。そうでない方も総合政策として精神系も含め、捉え直して下さい。

当士会会員の大方の皆さんは「病院施設」にお勤めです。病院施設というのは病院開設者が都道府県知事に開設等の許可申請をし、受理された上で今日も地域医療を担っております。そして「病床機能報告」も医療法に基づき、地域医療の現状把握や医療機能の分化・連携を推進する目的で病院では毎年、都道府県に提出しております。その内容は、病床の状況、手術件数、医療機器の台数、職員数、リハビリテーションの状況など多岐に渡ります。さらに病床機能は大きく4つに分かれており『高度急性期』『急性期』『回復期』『慢性期』を指すのですが、この中から自院の各病棟が果たす機能を1つ選び、病棟単位で都道府県に報告さ

れます。ご自身の職場は何病棟か、今一度ご確認ください。

さて、ここからが本題です。実は同じ「病院」でも『精神科病院』についてです。盲点でした。現行の「地域医療構想」は精神病床をカウントせず、あくまでも一般病床の機能分化について議論されていまして。この意味わかりますか？精神科で働くOTの方、一生懸命リハビリに従事しても法律は都道府県への我々の精神科OTの実績等の報告を求めておりませんでした。リハも含めて精神科病院はあくまでも別枠扱い。これは歴史上の経緯が原因かもしれません。書面の都合で説明は割愛しますが、このたび、2040年を見据えた新たな地域医療構想において令和6年12月に行われた厚労省での会議で構成員から「地域医療構想の作成にあたっては、都道府県と精神科領域の関係者が連携・連動できる仕組みを検討することが重要である」「単純に精神科病床の需要と供給だけを見て、構想区域ごとにコントロールを図るのではなく、各々の精神科病院の質を考慮した設計とすべき」等の意見が出ました。これではようやく晴れて、一般病院と同等の中に精神科病院も議論の遡上にあがることになりそうです。となると精神科のリハビリも将来は質が評価（例えば一般で疾患別リハがあるように、精神科でもあって良いのではないかな等・・・私見です）されることになるのかもかもしれません。今後も「新地域医療構想」は必読です。

各部からの報告

▶ウェブサイト管理委員会 県士会サイト役立ち活用術 (文責:ウェブサイト管理委員会 佐藤 範明)

今回は県士会サイトに掲載されている、研修会・講習会コンテンツの便利で役立つ活用術をお教えします。

講習会・研修会コンテンツは、開くと「県士会主催」、「生涯教育関連」、「SIG・他県士会主催」、「県民が参加可能」などに研修が分類されていますが、オンライン開催や研修会開催日などで探すこともできます。

活用術を図でお示しします。ぜひ、上手に活用し、会員の皆様の欲しい情報が円滑に探せるよう活用いただけると幸いです。

図) 講習会・研修会コンテンツ活用術 (スマホ Ver.)



各部からの報告

▶ **事務局** 2024年度臨時社員総会開催のご報告

(文責:事務局長 玖島 弘規)

2024年11月21日(木)に2024年度臨時社員総会が開催されました。今回の臨時総会では、定款の変更及び会員規程の変更についてご審議を頂きました。代議員の皆様のご協力のもと、全ての議案が賛成多数で承認となりました。代議員の皆様から頂いたご意見については今後の士会運営の参考にして参ります。引き続き会員の皆様と共に協力をしながら事業を進めていきたいと思っております。詳細はウェブサイトをご覧ください。

【議案】

- ①定款の変更：会員種別の追加
 会員種別への大学院生の追加 →賛成多数で承認
- ②定款の変更：総会、理事会の一部権能の変更
 「事業計画及び収支予算の決定」に関し理事会の権能に変更 →賛成多数で承認
- ③会員規程の変更：新規資格取得者の入会金、初年度会費の免除について →賛成多数で承認

地域リハビリテーション部活動紹介

～人材育成研修会「今さら聞けない地域作業療法のICT活用について」～

2024年10月20日(日)横浜YMCA専門学校にて地域リハビリテーション部主催の人材育成研修会を開催しました。

現代社会では、デジタルデバイスの進化で、スマートフォンアプリは今や欠かせないツールとなっています。もちろん、作業療法の対象者が目指す活動や参加に繋げることもできます。今回は人と地域をつなぐアプリケーション(以下アプリ)の活用をテーマに、前半は北里大学大学院医療研究科作業療法士の吉原氏より習慣化アプリ「みんチャレ」について、神奈川県内の自治体での取組みや実際の使い方のレクチャーを行っていただきました。レクチャーでは5人グループに分かれて、実際のアプリで写真や文章での報告を行い、「3日坊主にならない」ためにお互いに支え合うコミュニティを体験しました。

後半は有限会社足柄リハビリテーションサービス観光事

業部作業療法士でWheeLog!フレンズ小田原代表の初鹿氏より、車椅子ユーザー向けの地図アプリの紹介をしていただきました。実際に小田原市で地図アプリを使って車椅子ユーザーが街歩きをしたイベントの様子、他地域での取組みについて紹介していただきました。研修会の参加者にもアプリで自分の住む町の地図を見てもらい、車椅子ユーザーが使用できる施設検索を行いました。研修会を終えた参加者からは、アプリを知り実際に体験ができて臨床で活かすことができるという感想を多数いただきました。作業療法の一部として活用ができるアプリを知っていれば、クライアントの生活の質を向上させることも可能だと思います。本研修会では人と地域をつなぐアプリを2人の作業療法士に紹介をしていただき、作業療法の新たな可能性を知ることになり貴重な時間を過ごすことができました。

(文責:地域リハ部地域支援事業班 札野 優)



News letter

一般社団法人 日本作業療法士協会
地域社会振興部 地域事業支援課 地域包括ケア推進班主催

2024年10月
神奈川県士会版

2024年度 第2回地域事業支援会議

作業で暮らしに彩りを

2024年度の第2回目となる地域事業支援会議が、10月5日(土)、6日(日)にハイブリッドで開催されました。総勢150名近くの方が参加される会議となり、当士会の選任者は、地域リハビリテーション部の部員が中心に参加しました。

地域共生社会において作業療法士が活躍できる場の多様性を知り、活発な意見交換も行われた濃密な1.5日間でした。

山本会長からの挨拶に始まり、谷川常務理事から「協会理念と重点活動項目」、佐藤理事からは「最近の状況と介護予防ケアマネジメント」について発信がありました。その後、市町村担当者配置の速報や士会マネジメントにおける「地域支援事業参画のための士会マネジメントに関するQ&A」の紹介がありました。

2日目は地域事業支援課(運転と地域移動推進班・認知症対策班・スポーツ振興班)の各班長からの事業報告、重層的支援体制整備事業の取り組み紹介、地域づくりに資するOT参画モデル事業の紹介などがあり、包括的な視点での地域支援について考える機会となりました。

第3回目の地域事業支援会議は令和7年3月9日(日)曜日の午前、オンラインの予定になっております。



各事業の報告

1. 全国約1700の市町村担当者配置事業について

モニタリング表の更新とご提出をありがとうございました。

【市町村担当者配置率】

2023年度は約28%

→2024年9月現在 66.7%

(全国47都道府県、1154市町村に市町村担当者を配置)

※目標2024年度50%、2027年度80%

各士会の選任者の皆様には、本務でご多用の中、モニタリング表の更新をいただきました。配置が進んだ士会、様々な事情で配置に難渋されている士会、様々なご事情があるなか集計していただき感謝申し上げます。引き続き配置の促進と配置された担当者の作業療法士が地域に作業療法を提供できる実働が次のステップになります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

2. 地域事業参画のための士会マネジメントモデル事業について

【士会マネジメントに関するQ&A】について

全国約1700の市町村へ作業療法を届けるための具体策集の第1弾を協会ホームページに掲載いたしました。最終的にAnswerの部分を整理して、士会マネジメントの具体策のカatalogとしてまとめる予定です。

【活用のポイント】

これまでのアンケート、グループワークで出されたよくある質問から検索できるようになっています。

ブロック機能を活用して具体的な情報を補い、士会及び市町村の実情に即した方法をご検討ください。

日本作業療法士協会 HP

→ 会員向け情報 (協会からのお知らせ NEW)

→ カテゴリ

→ 地域社会振興関連 → 地域包括ケアシステム関連

→ 地域社会振興部地域事業支援課【地域包括ケア推進班】

<https://www.jaot.or.jp/seikatukankyoku/chiikihoukatu/>

3. OT参画実態調査

各市町村の「高齢者支援へのOTの参画状況」を明らかにするため、Google formにて調査を行います。昨年同様、士会事務局に調査依頼を行います。選任者の皆様には各士会事務局から問い合わせがあった際は、ご対応をよろしくお願いいたします。調査に関する質問窓口を準備しております。



第12回 (最終回)

「絵本でみる作業療法」 コラム最終回

「絵本でみる作業療法」の中に「夢をかなえる e スポーツ」という作品がある。障がいを持つ利用者がきょうだいと一緒にテレビゲームをしたいという昔の夢が周辺機器の進化と作業療法士の支援により叶うという物語だ。作業療法士が支援できる内容は大きく進化している。3D プリンターで自助具を作製する、e スポーツで世界の人と対戦する、視線でパソコンを操作するなど様々な方法が現在はある。「絵本でみる作業療法」も時代とともに進化し、様々な物語を提供したいと思う。今後とも「絵本でみる作業療法」を見守ってほしい。

(文責：清水 拓人)



県士会サイトも是非みてね！

<https://kana-ot.jp/wpm/p-book/>



事務局からの お願い

- **届出内容を変更される方** 住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『登録内容の変更届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール(kaiin@kana-ot.jp)にてご提出願います。(随時受付)
- **退会される方** 年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール(kaiin@kana-ot.jp)にてご提出願います(上記日必着)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ公式ウェブサイトのINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。

編集 後記

今号も学術集会から制度面、地域活動、総会などについて、いろいろな情報が掲載された紙面となりました。昨今は世の中の変化もとても早いと感じますが(私がおじさんだからか??)、我々作業療法士を取り巻く環境も、4月から登録作業療法士制度が開始されたりと、新しい取り組みが始まり、刻々変化しています。神奈川県士会の組織にも変化があるでしょう。そうした中で、本ニュース編集の我々は、神奈川の作業療法士の方及び関係の方へ、オフィシャルな情報提供源として皆さんの支援ができるよう努力して参りたいと思います。(びぐめい)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (231号) 2025年2月発行(年4回発行)

発行責任者 神保 武則

編集責任者 金山 桂

編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 洸(湘南慶育病院) / 佐藤 愛(悠の木株式会社) / 丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院)

松井 洋鷹(浏野辺総合病院) / 碓屋 瑛理(佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号

TEL/FAX : 045-663-5997

月火水木金 10 : 00~15 : 00

メールアドレス : jim@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<https://kana-ot.jp> → [作業療法](#) [神奈川](#) 検索

Facebook

<https://www.facebook.com/kaotwebkan>

X

<https://twitter.com/kaotwebkan>

